

事例番号(1-1) ネット依存(小学校低学年)

作成者 千葉県柏市立柏第二小学校

校長 西田 光昭

1 題材名	スマホの過度な使用による日常生活への支障
2 指導のねらい	家の約束を守って、ゲーム機やインターネットを使う
3 学習指導要領との関連性	

4 学習展開			
展開	学習内容 ・ 児童の反応	留意点	参考資料
導入	○ 家の人とどんな約束をしているか。出し合う。	○ ゲームやスマホに限らず、いろいろな約束を取りあげる	
展開	○ ゲーム・スマートフォンに関する約束を取りあげる。 ・ 時間, 場所 . . . ○ なぜ約束があるのか考える。 ・ 家の人心配している ・ 失敗して困らないように ○ 約束を守らないとどうなるか考える。 ・ 朝起きられない ・ できなくなってしまう	○ 自分のためであることを考えさせたい。 ○ 守ることのよさを気づかせたい。	
まとめ	○ 家の人との約束を守って、ゲームやスマホ, タブレットを使おう。		

名前

1 ゲームやスマートフォンをつかうときのいえのひととのやくそく

2 どうしてやくそくがあるの

3 やくそくをまもらないとどうなるだろう

※ きょうのべんきょうをふりかえろう

事例番号(1-2) ネット依存 (小学校低学年)

作成者 千葉県柏市立柏第二小学校

校長 西田 光昭

1 題材名	<u>ゲームに夢中になっている最中に生じた高額課金</u>
2 指導のねらい	ゲーム機やスマートフォンで、ネット上での購入は、保護者に相談してから行うことが必要なことを知る。
3 学習指導要領との関連性	

4 学習展開			
展開	学習内容 ・ 児童の反応	留意点	参考資料
導入	○ ゲームのアイテムを買うなど、インターネットでお金を使った経験を出し合う。	○ 家族がしているのを見ていたことでも良い。	
展開	○ インターネットトラブル事例 の事例を聞く ・ 初めはお母さんに相談して購入した ・ 高額な請求が来て、初めてそれ以後も購入していたことがわかった ○ 気づかずにお金を使ってしまうのはなぜか考える。 ・ 欲しいと思うと我慢できないから ・ 家の人に相談しないで買ってしまったから ・ 直接お金を使わないので気づきにくい	○ 事例集のイラストを提示できると良い ○ ネット上に限らず、お金を使った経験から出す。	
まとめ	○ ネット上でお金を使う時にどうするか考える ・ 家の人に相談する ・ 自分一人でお金を使わない		

名前

1 インターネットトラブルはどんなおはなし？

2 おかねをきづかずにつかってしまうのはなぜだろう？

3 ネット上ではどのようにおかねをつかったらいいだろう？

※ きょうのべんきょうをふりかえろう

事例番号(2-1) ネットいじめ (小学校低学年)

作成者 千葉県柏市立柏第二小学校

校長 西田 光昭

1 題材名	無料通話アプリなどでの悪口や仲間外れ
2 指導のねらい	ネット上での発言や書き込みは、読んだ人、書かれた人の気持ちになって考え、読み直すようにする必要があることを理解できる。
3 学習指導要領との関連性	

4 学習展開			
展開	学習内容 ・ 児童の反応	留意点	参考資料
導入	○ 友だちが話しているのを聞いたり、言われたりして、いやな気持ちになった言葉を出す。	○ 聞いていてもいやなことがあること	
展開	○ 言葉のうけとり方が違うことを知る (「え」「え～」聞くのと、いやそうなのと例示) ・ 書くのと、聞くのと違う。 ・ 同じ言葉でも、人によって違う ○ ネットで書くとどう伝わるか考える ・ いろいろな人を見る ・ 消せない ・ 気持ちが伝わらない ○ 見た人がいやな気持ちにならないようにするにはどうするか考える。 ・ 読む人の気持ちを考える ・ 書き込む前に、もう一度見る。	○	
まとめ	○ ネットでの書き込みは、読む人、書かれた人の気持ちを考え、確かめてからにする。		

名前

1 2つの「え」をくらべよう

2 ネットでかくと、どう伝わる？

3 どうすれば、見た人がいやに思わないか。

※ きょうのべんきょうをふりかえろう

事例番号(3-1) 誘い出し・なりすまし (小学校低学年)

作成者 千葉県柏市立柏第二小学校

校長 西田 光昭

1 題材名	SNS やネットで知り合った人による性犯罪被害
2 指導のねらい	フィルタリングや機能制限を利用して、危険なサイトには入らないようにすることで、安全に使えることを知る。
3 学習指導要領との関連性	

4 学習展開			
展開	学習内容 ・ 児童の反応	留意点	参考資料
導入	○ 学校のパソコン室で、フィルタリングでブロックされた画面を見て、経験を出し合う。	○ 学校で利用していないときは、一般的なブロック画面	
展開	○ ブロックされるのはどんな時か考える。 <ul style="list-style-type: none">・ 見ない方が良いページ・ 一人で使うのが心配なページ・ 大人むけのページ ○ なぜブロックされるのか考える。 <ul style="list-style-type: none">・ 危ないことに合わないように・ よくないことに近づかないように・ だまされないように ○ ブロックされた時にはどうしたら良いか知る。 <ul style="list-style-type: none">・ ページを閉じる・ 前のページに戻る・ シャットダウンする	○ 経験が少ない場合は、少なくとも良い ○ そのページから離れるための行動を出す。	
まとめ	○ フィルタリングを使って、安全に使おう。		

名前

1 ネットをつかっていて、ブロックされるのはどんなとき？

2 なぜ、ブロックされるのだろう。

3 ブロックされたときには、どうしたらよいだろう

※ きょうのべんきょうをふりかえろう

事例番号(3-2) 誘い出し・なりすまし (小学校低学年)

作成者 千葉県柏市立柏第二小学校

校長 西田 光昭

1 題材名	出会い系サイトなどを使った未成年からのアプローチ
2 指導のねらい	ゲーム機やスマートフォンでの情報交換での、見知らぬ人とのやりとり に巻き込まれないために、フィルタリングを使おうと考える。
3 学習指導要領との関連性	

4 学習展開			
展開	学習内容 ・ 児童の反応	留意点	参考資料
導入	○ ゲームや動画サイトの中などで、目の前にいない人と話をしたことがあるか出し合う。	○ 見たこと聞いたことでも取り上げる。	
展開	○ 知らない人と話しても大丈夫だろうか。 ・ 知らない人ではない ・ やさしく話してくれるから大丈夫 ○ ゲームや動画サイトの中の人のはしってる人か考える。 ・ どのの、どんな人か話だけではわからない ・ 写真もどんなことに使われるかわからない ・ 教えてしまったり、渡してしまったりしたら取り返せない。 ○ よくわからない危ないことに近づかないためには、フィルタリングがあることを知る。 ・ フィルタリングは、守るためのもの ・ 子どものためにフィルタリングがある	○ 知ってる感覚を出させる。 ○ 知っているといえないことを意識させる。 ○ 子どもを守る仕組みとしてフィルタリングを知らせる。	
まとめ	○ ゲームやネット上だけの知り合いには、会ったりするのは危ないので、フィルタリングで守ろう。		

名前

1 しらない人と、はなしてもだいじょうぶ？

2 ゲームやどうがサイトのなかの人はしってる人

3 どうやってわからないこと、あぶないかもしれないことにちかづかないようにする？

※ きょうのべんきょうをふりかえろう